学校だより
中山小
中山小学校は創立131年目を迎えました
”夢をかたちにこころひとつに大好き中山っ子”
横浜市立中山小学校
令和５年　４月７日　発行
４月号
学校教育目標：豊かなかかわりの中で「生きる力」を身につけます

新たな時代に向かって中山小の１３１年目がスタートしました！

～生きる力を身に付け、未来を拓いていく「なかやまっ子」～　校長　吉田　茂樹

暖かな春の日差しの中、子どもたちの元気な声とともに令和５年度の教育活動が始まりました。

この３年間、新型コロナウィルスの影響により、マスク生活や教育活動の制限、臨時休業、分散登校など大変な時期が続きました。ようやく、４月７日からは、３年ぶりに学校においてもマスク着用は基本的に必要なく、マスクの着脱は、個人の判断になります。（３月２４日付お知らせ、新１年生はメール配信を御参照ください。）但し、①大人数で集まって近距離で大きい声を出し合うのは避ける②換気を十分に行う、③咳エチケットを行うなど、最低限の感染対策は継続になります。また、これから暑い時期に向かっていきますので、熱中症対策を優先し、積極的にマスクを外すよう御家庭でもお声掛けください。（４月中は、花粉症対策でマスク着用の児童もいると思いますので適時対応していただければと思います。私も花粉症なので４月はマスクが手放せません・・・）子どもたちの活動も対話的な学習形態や異学年交流（たてわり活動等）、水泳学習など、より充実した学習ができるようになると考えています。

また、今年度の教育活動をスタートするにあたり、柱となる本校の目標･取組についてお伝えします。

（詳細につきましては、４月懇談会前に学校説明会としてお伝えする予定です。）

◎学校教育目標　　＜豊かなかなかかわりの中で「生きる力」を身に付けます＞

いろいろな人（学級・学年、異学年、異校種、教職員、保護者・地域の方々、外部講師など）とのかかわりを通して主体的・対話的に学び、豊かな心を育み、自分の生き方をつくっていく「なかやまっ子」を育てていきます。

本校では、特に校内重点研究として、互いに受け止め合って高め合う、「じぶんがすき　ともだちがすき　中山がすき」になる子どもの育成を目指し、主体的・対話的に問題解決を図る学びを充実させていく研究を推進しています。（適時、学校だより等でお伝えしていきます。）

また、安心・安全な学校づくりに向けてチーム学年経営を軸に組織的な対応を推進していきます。全学年で一部教科分担制（１年生については自分の学級・担任に慣れてから）を実施し、学級担任、専科等の教師が学年担任の視点でチームとして学習指導・児童支援を行っていきます。児童指導など内容に応じて、児童支援専任教諭（白須久美子）が学年にも入って連携していきます。

子どもたちは、成長過程の中で、いろいろなトラブルが起こる場合があります。学校は、教育の場として、失敗を学びに変え、それぞれの子どもの成長につなげていきたいと考えています。ぜひ、保護者の皆様の御理解・御協力をお願いします。何か御心配なことがありましたら、担任、学年主任、児童支援専任などを窓口として御相談ください。また、スクールカウンセラーが学校に定期的に来校しますので、御活用ください。（事前予約制になり、窓口は、児童支援専任です。）

最後になりますが、今年度もPTA活動がスタートしています。中山小は、本部役員が皆さん立候補で決まるということに、たいへん感謝しております。また、特に安全面においては、登校班登校や地域の学援隊（見守り活動）の方との連携、スクールゾーン対策協議会など、とても大切な役割を担っていただいています。PTA活動は、任意団体ですが、「持続可能なPTA」として、無理のない、皆さんができる範囲での活動を基に、子どもたちの安全で豊かな教育に向けて、引き続き御協力をいただければ幸いに存じます。本年度もどうぞよろしくお願いします。